

レガシィのリコールについて

平成22年6月17日

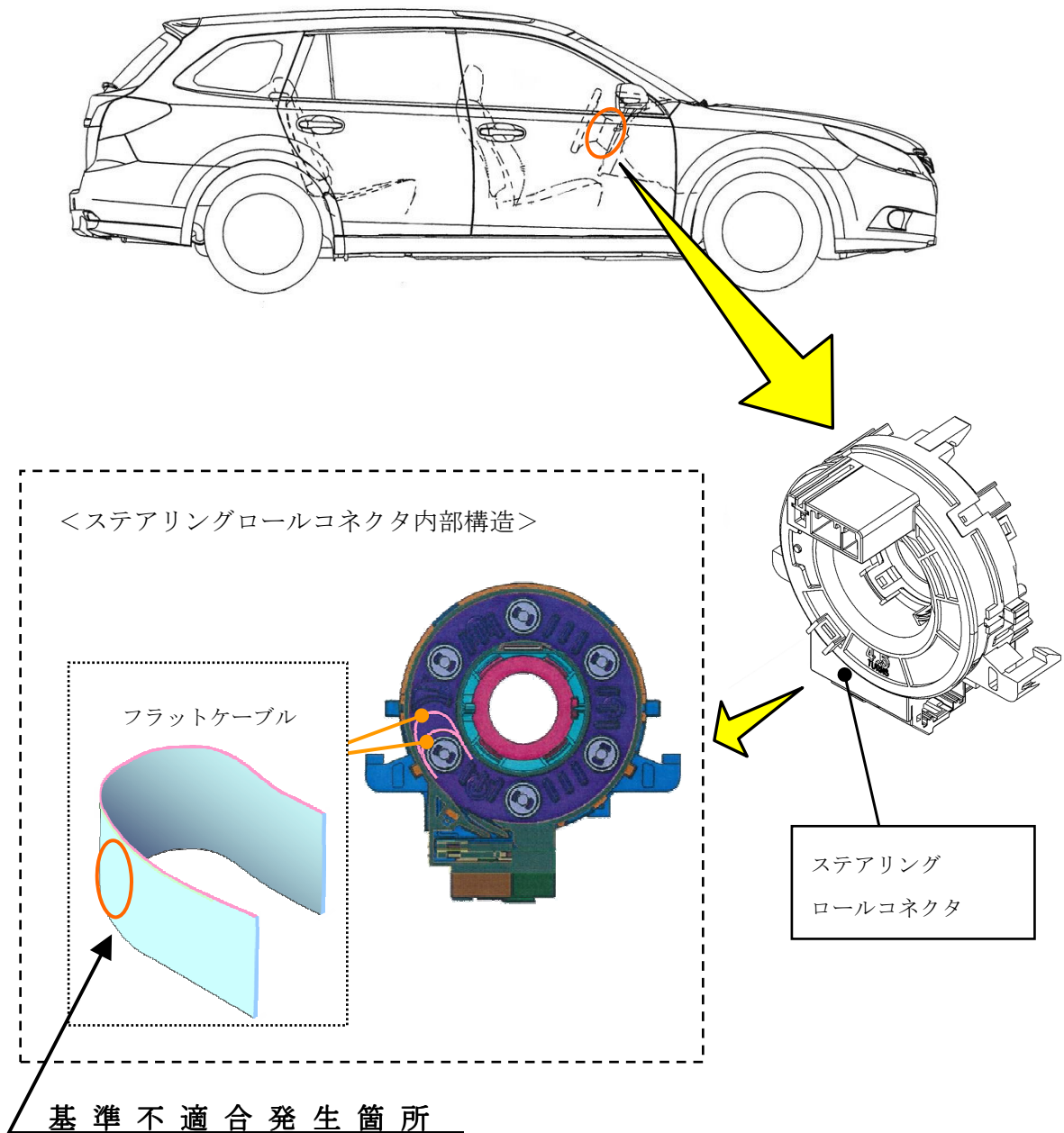
平成22年6月17日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2557	リコール開始日	平成22年6月17日
不具合の部位(部品名)	かじ取り装置(ステアリングロールコネクタ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ステアリングロールコネクタのフラットケーブルにおいて、製造時に当該ケーブルに塗布しているグリスの製造ばらつきにより、当該ケーブルの表面にケミカルストレスクラックが発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該クラックを起点に導線が断線し、運転席エアバッグの不作動、警音器の不鳴となるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両ステアリングロールコネクタの製造ロット番号を確認し、該当するものは良品に交換する。		
不具合件数	5件	事故の有無	0件
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo. 2557のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	BM9-002003 ~ BM9-010288 平成21年 4月20日~平成22年 3月23日	7,449	
	DBA-BR9		BR9-002001 ~ BR9-023225 平成21年 5月 8日~平成22年 3月23日	19,019	
	DBA-BRF		BRF-002001 ~ BRF-002904 平成21年 5月 8日~平成22年 3月22日	865	
	(計3型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成21年 4月 20日~平成22年 3月23日	27,333台	

※対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



ステアリングロールコネクタのフラットケーブルにおいて、製造時に当該ケーブルに塗布しているグリスの製造ばらつきにより、当該ケーブルの表面にケミカルストレスクラックが発生するものがある。そのため、そのまま使用を続けると当該クラックを起点に導線が断線し、運転席エアバッグの不作動、警音器の不鳴となるおそれがある。

改善内容

全車両ステアリングロールコネクタの製造ロット番号を確認し、該当するものは良品に交換する。

識別

チルトステアリングレバー部に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	DBA-BM9	レガシィ	普通・乗用	箱型	EJ25(2,457)	
	DBA-BR9			ステーション・ワゴン	EJ25(2,457)	
	DBA-BRF			ステーション・ワゴン	EZ36(3,629)	